

復興支援住宅エコポイント事業/住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体 事業報告書

事業者コード	K022	報告日	2014/1/14	
団体名	きょうとグリーンファンド	報告者 (役職・氏名)	事務局長 大西啓子	
連絡先 (電話/メール)	075-352-9150 info@kyoto-gf.org	活動ホームページ (URL)	http://www.kyoto-gf.org/	
対象分野	<input checked="" type="radio"/> a. 地球温暖化防止 <input type="radio"/> b. リサイクル・廃棄物対策 <input type="radio"/> c. 自然保護・生物多様性保全 <input type="radio"/> d. 森林の保全・緑化 <input type="radio"/> e. 大気・水・土壌環境の保全、化学物質対策 <input type="radio"/> f. 環境教育・人材育成 <input type="radio"/> g. グリーン購入 <input type="radio"/> h. 助成・トラストを行う団体 <input type="radio"/> j. カーボン・オフセットなどの事業・プロジェクト (登録されている対象分野を選択してください)			
事業・プロジェクト名	市民共同発電所づくりで広げる自然エネルギー			
環境寄附対象期間	平成24年5月振込分 から 平成25年4月振込分 まで			
寄附額	■ポイント取得者からの環境寄附:		¥24,724	
	■交換商品提供事業者からの環境寄附(個別指定を受けた寄附):		¥0	
	■交換商品提供事業者からの環境寄附(全団体に均等配分された寄附):		¥38,535	
	合計:		¥63,259	
当初想定 の環境寄附 の 使い途	寄附金額	寄附額1 (円以上) 1,000 ~ 寄附額2 (円以下) 300,000	寄附額1から2の 使い途	おひさま基金に繰り入れ、おひさま発電所設置と環境学習に活かします。
		寄附額3 (円以上) 300,000 ~ 寄附額4 (円以下) 1,500,000	寄附額3から4の 使い途	子どもたちにわかりやすいオリジナルの発電表示盤の設置費用に使います。
		寄附額5 (円以上) 1,500,000	寄附額5の 使い途	「おひさま発電所づくり」は総事業費約1200万円(10kW)。発電設備、環境学習等の費用に使います。
実際の 環境寄附の 使い途 (使用対象 及び成果等)	環境寄附をどのような活動内容に充てたのか、400字程度にまとめてご記入ください。 また、環境寄附の使用対象を明確にし、できる限りその使用対象への成果を明示してください。 ※カタログ等で公開されている当初想定「環境寄附の使い途」に沿った活動に関する報告をお願いします。 ※別紙「記入例」を参考の上(概要)、(使途)、(効果)を記入ください。 ※寄附額毎に異なる使い途を設定されている場合は、それぞれの活動内容をご記入ください。 ※寄附金の使用内訳を明確に記入いただき、次年度繰越金などある場合は必ずご記入ください。 (概要) 次の世代を担う子どもたちに自然エネルギーを大切に使う未来を手渡したいと、幼稚園や保育園に市民参加で太陽光発電設備「おひさま発電所」をつくり、環境学習を進めています。16ヶ所のおひさま発電所を設置しました。 (使途) 2012、2013年度21回実施した保育園・幼稚園での環境学習の費用の一部として全額(63,259円)使わせていただきました。実施した環境学習は、腹話術、自然観察会、見学会などで、新しい試みとして、既設おひさま発電所同士の情報交換を目的としたエコ会議を開催しました。費用の内訳は、講師謝礼、資料作成経費、会場費です。 (効果) 既設おひさま発電所での環境学習は、職員の意識改革に焦点を当て、施設自らの工夫を促した結果、「見ないテレビのスイッチは消す」など、幼児の具体的な行動に結びついており、多くのエコな子どもたちが育っています。			